会　議　記　録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和５年度第２回　高松市図書館協議会
開催日時	令和６年２月２８日（水）午後３時～午後４時２０分
開催場所	サンクリスタル高松　３階　第１集会室
議　　題	(1)　令和５年度図書館評価について (2)　第６次高松市子ども読書活動推進計画（案）について (3)　サンクリスタル高松リニューアル事業の概要について (4)　その他
公開の区分	■　公開　　□　一部公開　　□　非公開
上記理由	高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針に基づく
出席委員	澤田委員、市原委員、須田委員、岡田委員、天野委員、川崎委員 徳山委員、藤本委員、福留委員、武田委員、宮本委員
傍 聴 者	２人
担当課連絡先	中央図書館８６１－４５０１

審議経過及び審議結果

議題１　令和５年度図書館評価について

意見：利用者アンケートが、１１月の大体中旬頃に２週間という期間を区切られた形で行われています。
これに関してですが、この集計をするという意味においては、その期間を区切るということが必要なのだろうということがあると思うのですが、このアンケート以外に利用者の生の声を拾い上げるようなシステムとかは考えていないのでしょうか。

回答：１１月のアンケートについては、毎年定型的に同じ項目がどうなっているのかを図っていくという目的があるので、一定期間区切った形で行っています。
例えばサービスの改善とか、図書館への要望というようなことであれば、市民サービスアンケートに書いていただければ、担当課に伝わります。また、窓口においても、気が付いたことなどがあれば、随時言っていただければと思います。
アンケートについて、随時するということは難しいと考えています。

意見：元教員として中学生のビブリオバトル大会の応募者数３０人の目標に対して７人しかいなかったというのは辛かったです。
中学校において、全校一斉の読書活動の実施数は83.3%もあるので、学校と連携しながら、ビブリオバトル活動を行えば、子どもも参加しやすくなるのではないでしょうか。
中学生の心を広げる一番大事な時期であり、読書を通していろいろな心と触れ合って、話し合える良い機会になるので、子どもに寄り添った活動をしてもらいたい。

回答：ビブリオバトルにつきましては、校長会や各学校の司書教諭にもお願いをして、周知も行った結果、参加者が７人でした。見応えがあるイベントなので、今後も続けていきたいと考えているため、１０人以上参加してもらえるよう、さらに方法を考えていきたいと思います。

意見：ビブリオバトル大会の日程を変えることは出来ないのですか。

回答：ビブリオバトル大会は読書まつりの中で開催しているのですが、この日が人が多く集まる日ということと、観覧者が投票権を持ちますので、観覧者も多く集めたいことから読書まつりと同時に開催しています。今のところは、この日程で続けていきたいと思っています。

意見：年に２回開催というのはできないのでしょうか。子どもも別の日だったら出れるというのがあるのではと思います。投票のこともあると思いますが、ビブリオバトルの場を提供するという意味でも２回開催するのはどうかなと思います。

回答：来年度の日程については、読書まつり内で行う予定にしています。当日、会場に来ないと参加はできないのですが、来年度は動画を撮影して、その様子を後日公開しようと思っていますので、そちらも見ていただけたらと思います。

審議経過及び審議結果
意見：今、ＳＮＳの時代になっているので、ホームページのアクセス数が減っているというのは大事なことかなと思います。ホームページもそうなんですが、今の時代、ＳＮＳを子どもはよく閲覧していると思うので、そちらを充実した方が良いと思います。 回答：ホームページのアクセス数が減っている理由については、分からないというのが現状です。 ＳＮＳについては、図書館においてもフェイスブックとインスタグラムに情報をアップしており、そちらから情報を取る人も増えている印象があります。そのため、図書館評価の指標にＳＮＳのフォロワー数というのも良いのではないかと思うので、今後検討していきたいと思います 議題２　第６次高松市子ども読書活動推進計画（案）について 意見：子どもの読書活動の推進については、学校の協力が大事だと思います。先ほどのビブリオバトルも同じですが、学校や学校を所管する市役所の課とも連携して行って欲しいと思います。 回答：学校の方とも連携を図りながら、子ども読書活動を推進していきたいと思います。 意見：ブックスタートについてですが、コロナの期間、ブックスタートバックはもらったけど、最初の出会いとしての読んでもらうという体験を受けずに、幼稚園等に入る子が出てきています。この子どもたちというのは、ブックスタートの施策から取り残されている形になっていると思うのですが、その子どもたちにフォローアップを行うということは考えていないのでしょうか。 回答：ブックスタートの読み聞かせについては、この４年間中止になっていたのですが、今年の４月から再開できるよう、健康づくり推進課と連携しながら調整中です。 また、フォローアップについては、今のところ考えてはいないのですが、図書館司書による読み聞かせとして幼稚園や放課後児童クラブに出向いていますので、そのような機会に読み聞かせを経験してもらえるのではないかと思います。 議題３　サンクリスタル高松のリニューアル事業の概要について 意見：リニューアルですが、いわゆる機械化を進めていくということがうたわれています。 子どもたちが利用しやすい図書館を目指すには、大人も子どもも一緒に機械で受付をしたら良いというのはなじまないのではないかと思います。 子どもには受付の場所に人がいて、そこでの会話等が大事だと思います。 自動貸出機も必要だと思いますが、触れ合いも出来るよう十分配慮してほしいと思います。 意見：子どもだけではなく、障がい者や高齢者についてもですが、平日に利用する人というのは、割と高齢者が多いと思います。そうすると、自動貸出機の使用が難しいのかなと思います。自動貸出機というのは、これからの時代、やむを得ないという気がするのですが、人が立ち会ってくれるのかが気になるところです。 回答：自動貸出機は導入する予定です。また、カウンターについては現在の４か所から２か所に変更する予定にしています。 ただ、有人での、貸出・返却も引き続き行う予定としています。司書については、これまで貸出業務に時間を割いていましたが、今後は子どもたちと触れ合ったり、読み聞かせの時間にあてることができるようになり、人と人との接触が生まれやすい図書館にしていきたいと思います。 意見：無人化・省力化というところが焦点だと思います。 デジタル化というのは、我々大人よりも子どもの方が進んでいるところもあると思います。 デジタル化を利用しながらヒューマンな図書館を目指してほしいと思います。 中央図書館が閉館している間、市民の不便にならないようにしてもらいたいと思います。

審議経過及び審議結果
議題４　その他 ４月より図書館向けデジタル化資料送信サービスを開始する報告及びブックスタート事業における読み聞かせを再開する報告を行った。